

令和 7 年度政策討論会 第三分科会（第 2 回）要点記録

- ・ 日時 令和 7 年 7 月 8 日（火）
- ・ 場所 第一委員会室
- ・ 会議時間 10：00～11：00
- ・ 出席者
 - 中岡 佐織（座長）
 - 西田 武史（副座長）
 - 小西 拓模
 - 殿本 マリ子
 - 南 加代子
 - 友永 修
 - 中井 良介（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：郷土愛について - 岸和田市讃歌、岸和田音頭などを活用しながら -

1. 内容：岸和田市讃歌、岸和田音頭の音源確認と現在の活用状況を確認
2. 各議員の発言要旨

（友永議員）

- ・ 郷土愛を育むために、どう活用すべきかと考えた。自分自身の経験だが、音頭については、子どもの頃から耳にする機会があり、歌詞の意味を理解せずともリズムやフレーズが記憶に残っていて、聞けばすぐに「岸和田」となる。これが、岸和田に対する愛着や誇りとなるのではないか。そのため、教育委員会の協力をいただきながら、聞く機会を増やす方法を考えていきたい。

（南議員）

- ・ 郷土愛を育む提言とするならば、岸和田音頭の歌詞にある蛸地蔵の伝承が郷土絵本としてあるように、幼児期から地域の物語と音楽を通じて地域への親しみを形成すべきではないか。音楽は記憶に残りやすく学びが加わることが体験となり郷土への懐かしさを生む土壌になっていくと考える。
- ・ 岸和田市讃歌、音頭と子ども達に歌ってもらう環境をつくる強制はできないが接する機会を増やす方向性の回路ができれば良い。例えば、盆踊りに行けばこの曲が流れている地域もある。幼き頃、聴いた曲は忘れる事なく、その当時を思い出し我が郷土を懐かしむものだ。地域が取り組む行事に自然に取り入れる流れが必要と考える。

行政としては、この詞や曲を聴けば岸和田と覚えてもらえる環境を創ることだ。例えば、列車到着時などに、このメロディーを使用することで地域の印象形成を促進する働き掛けに取り組めば観光面でのアプローチにもなりえる。

(中井議員)

- ・ 郷土愛について、(個人の内心にかかわることであり) 押しつけるのは問題がある。「岸和田市讃歌」や「岸和田音頭」も同様で、個人的には親しみやすく好感を持つが、学校で子どもたちに教えよというふうな押しつけになるようなことはやらない方がよい。歌や音頭はもっと知られてよいし、そのための手立ては工夫すればよいと思う。

(西田副座長)

- ・ 自分自身は残念ながら讃歌はこれまでに耳にした事が無かった。今後、自分の出身校の校歌や思い出の楽曲の様に、その曲が流れると色んな思い出などが溢れ出す事と同じ様に讃歌や音頭を耳にしたら岸和田の思い出が溢れるくらいに、まずは定着させるべきではないか。

(殿本議員)

- ・ 岸和田市讃歌はどこで歌われてるかは知りません。
- ・ 岸和田音頭はいろんなところで歌われています。
- ・ 岸和田市讃歌を歌うことで岸和田市民としての誇りを持って市民が一体になるのでは。
- ・ 小学校の給食時間や休憩時間、市の色々な式典、信号待ちの時間などに流していただけたら、岸和田市讃歌の周知につなげられるのではないのでしょうか。

(小西議員)

- ・ 岸和田市讃歌や岸和田音頭を、学校教育の中で普及していただくと同時に、例えば駅や駅前商店街などの公共の場で BGM として流してはどうかと提案したい。
岸和田の人々にとっては「おかえりなさい」岸和田以外から訪れた人々には「ようこそ」という意味合いを持たせ、街全体であたたかく迎えるような雰囲気づくりにもつながると考える。また、特に学生の下校時間帯に合わせて夕方に流すことで、自然と耳に入り、若い世代への浸透や認知にも効果があるのではないか。
- ・ 他市における文化継承の好事例として、大阪府堺市の「堺っ子体操」が挙げられる。この体操はテレビでも取り上げられており、堺市民であれば誰もが歌い、踊ることができる市民共通の文化となっている。その継承方法として、小学校の体育の授業で教

えられていると聞いており、こうした形での教育現場からの継続的な普及は、岸和田市でも参考になる取り組みではないかと考える。

（中岡座長）

- ・ 調べると 2009 年に当時の西村議員から同じような一般質問があった。議事録によると企画部と学校教育部が答弁していたので、その後の取り組みなどに課題解決となる糸口がありそう。西田副座長と担当課の招聘をさせていただくのが良いのではないかと事前に話していた。
- ・ 歌詞を理解することにより、岸和田市の地形・風土・産業・工業・歴史が解る。
- ・ 郷土愛は、自分が暮らす地域や生まれ育ったまちへの愛着や誇り。地域を自分の家や庭のように思える気持ち。それが強まれば、地域を良くしようとする人が増え、安心して住める、誇りを持てるまちができる。
- ・ 今後の進め方として第 8 回分までのレジュメを作成した。あくまでも（仮）なので、ご参考まで・・にということでタブレットに掲載していただく。

3. 次回、7 月 28 日（月）に教育委員会及び企画課を招聘し、現状について確認を行う。